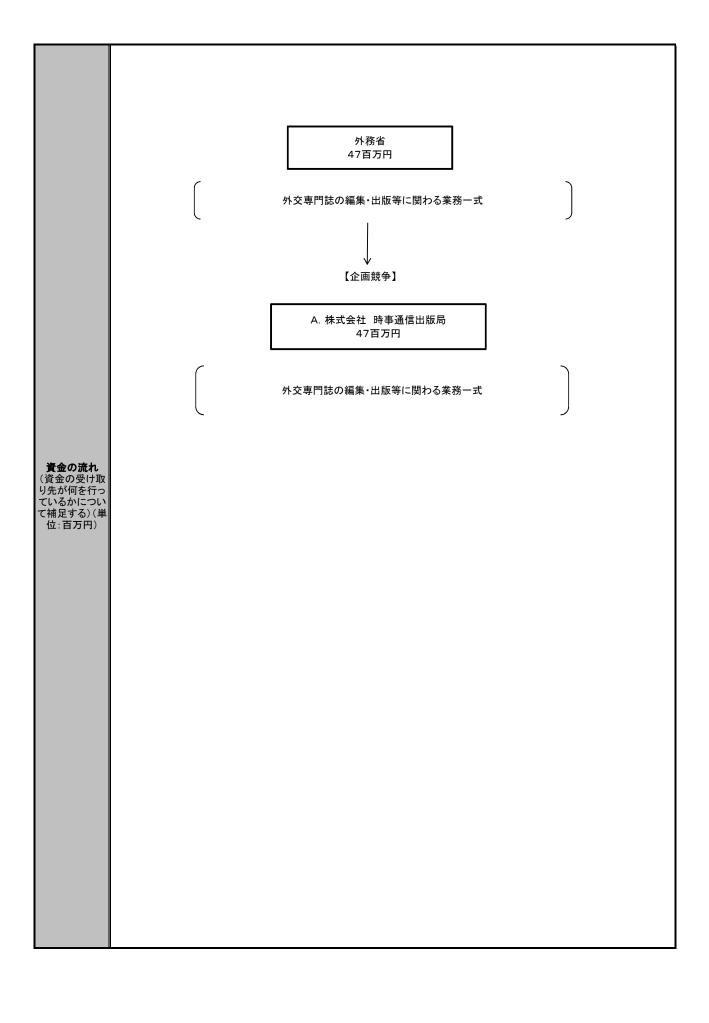
177

平成23							年行政	事業	レビューシー	<u>゙ューシート (外務省</u>)		
事	業名		5	朴交専門論 壇	誌作成費		担当部	局庁	大臣官房	外務報道官組	織	作	成責任者		
	模開始・ 予定)年度	平成22年			手度	担当課室		国	国内広報課		課長 佐久間 研二				
会記	计区分	一般会計				施策	名	ш	一2 報道対策、	国内広報	、IT広	.報			
(具	処法令 体的な も記載)	外務省設置法第4条				関係する通知		•	-	_					
(目指潔に。			国民に対して、外交の重要性及びその背景にある国際情勢について理解を求め、外交問題に関する国内の様々な議論を喚起す ることに重点を置きつつ、広く「外交」を国民に知ってもらうための外交問題専門の雑誌を作成・発行すること。												
(5行程	準概要 建度以内。 添可)	国民の理解と信頼を得ながら外交を進めていくためには、日本を取り巻く国際情勢の現状についての認識を深め、外交に関 国内の様々な議論を喚起することが求められている。そのためには、学識経験者、ジャーナリスト、政治家・政治団体、NGO3 合む幅広いオピニオンリーダーが意見を戦わせる場として外交に特化した専門誌・論壇誌が存在することが必要である。しか 現状では純粋に商業ベースでは外交問題に関するこうした論壇誌、専門誌が成立することは困難であることから、業務委託に り、外交専門論壇誌を作成する。								体、NGO等を ある。しかし,					
実施	拖方法	□直接実施			■業務委託等		口補助		□貸付	□その他	〕その他				
					20年度		21年度		22年度	22年度 23年度		24年度要求			
		予	当初予算		_		_		50	49	49		49		
-	算額· l行額	第 第 次 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数	算補正予算の		_	_			-	_					
			状 操越し等		_	_			_	_	_				
(単位	::百万円)		況計		_				50	49	49		49		
		執行額			_		_		47						
		執行率(%)			_	_			94.5	94.5					
		成果指標						単位	20年度	21年度	22年	度	目標値 (23年度)		
成身	目標及び 果実績 ハカム)	外交専門誌が広く一般に定着することを目標と して、市販用発行部数を伸ばす。 (成果実績:市販用発行部数)					成果実績			_	18,00		24,000		
							達成度	%	_	_	100)			
江州 1	と梅 ひょぐ	活動指標			標			単位	20年度	21年度	22年	度	23年度活動見込		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット) 単位当たり コスト		外交専門誌の発行。 (活動実績数:発行回数)					活動実績 (当初見込 み)	回	-	_	6 (6)		(6)		
		7,855,000(円/1回発行分)					作成経費(X):47, 130, 000円 第七根拠 発行数(Y):6回 (X)÷(Y)								
	費 目 23		23年度当初予	算 24年度要求	ζ		主な増減す								
平成23・24年度予	編集・出版業務		49,203	49,203											
内訳	計		49,203	49,203											

事業所管部局による点検									
	評価	項目	特記事項						
目的・予算	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。							
	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	-						
算の	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。							
資金	0	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。							
の	0	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。							
使れ、	_	受益者との負担関係は妥当であるか。	-						
巫 、 費 目・	_	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。							
	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。							
活動	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。							
実績	0	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。							
•	0	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-						
成果	_	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか							
実績	0	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。							
検結果	は、大学は、大学は、大学は、大学は、大学は、大学は、大学は、大学は、大学は、大学								
		予算監視・効率化チームの所見							
現 状 通 り		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	管面ボニヤナス反映北辺等)						
		エルジア 昇重代・刈平化ノームの別元を超よんに収合点(機・	井女小にの17の以吹火ル寺/						
_									
補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)									
1									



		A 株式会社 時事通信出版局		E.					
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)			
	その他	外交専門誌の編集・出版等関係業務	47			(1173117			
	計		47	計		0			
		В.	l	F.					
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)			
			(日27日)			(ログロ)			
費目・使途 (「資金の流れ」									
においてブロッ クごとに最大の									
金額が支出されている者につい									
て記載する。費									
て記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)									
ように記載)	計		0	計		0			
		C.		G.					
	費目	使 途	金額	費目	使 途	金額(百万円)			
			(百万円)			(ロルロ)			
	計		0	計		0			
	D.			H.					
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)			
			(500)			\ D /J /			
				=1					
	計		0	計		0			

支出先上位10者リスト A.

	A.									
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率					
1	(株)時事通信出版局	外交専門誌の編集・出版に関わる業務一式	47	3	企画競争					
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										